

令和6年度 園経営計画 足立区立東花畑保育園

園長 鈴木 幸

1 園の経営目標

- (1) 子どもの最善の利益を保障し一人一人の人権や主体性を尊重した保育を行い、「夢や希望を信じて生きぬく人づくり」の基礎を育む。
- (2) 地域の子育て家庭に寄り添い、地域の方が必要としている事業を展開し子育て支援を行う。
- (3) 豊かな愛情と高い専門性をもち一人一人を大切にしたい保育ができるよう職員の資質向上を図る。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは安心できる保育者のもと、やりたい遊びを見つけ、広い園庭で体を十分に動かして遊び、保育者や友達と一緒にさまざまな経験や気づきを重ねている。
- (2) 日々の遊びや生活を通して自然なかたちで異年齢児と交流をする中で、年上の子への憧れや年下の子への思いやりの気持ちが育まれている。
- (3) 保育者は日々の保育の中で子どもの発見や気づきを園内研修や毎月の保育の振り返りの中で共有し意見交換を行い、環境構成に前向きに取り組んでいる。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	子どもが自ら体を動かすことを楽しめるような環境づくりをする。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもが自ら体を動かし、繰り返し遊びたくなる環境をつくる。	ア 子どもからのアイデアや意見を取り入れながら、環境づくりをしていく。 イ 興味関心や発達に合わせて、子どもが自分たちで組み合わせを変えられるようにする。
(2) クラスごとに「36の動き」を確認、共通認識をもち運動遊びに取り組む。	ア 各クラスで毎月、子どもたち一人一人の体の使い方の変化や課題を確認しながら、環境設定を見直していく。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	音楽活動を通して表現する楽しさを知らせ子どもの豊かな感性を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 年齢に合わせて音楽に親しめるようにする。	ア 各クラスに楽器コーナーを用意し、自由に楽器に触れたり、保育者と一緒に歌や手遊びを楽しんだりする。 イ 職員によるミニコンサートを年3回行い、楽器の音やリズムに触れる機会をもつ。
(2) 子どもと一緒に楽器の音や自然物の奏でる音を聴く。	ア 楽器の出す繊細な音や雨が傘に当たる音、風がすき間を通り抜けていく音などを子どもと耳を澄まして聴く。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	子どもの人権を大切にしながら保育に取り組む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 人権についての学びを日々の保育実践に取り入れる。	ア 全職員が毎月1回チェックリストで確認をする。 イ 具体的な事例を通して振り返りを行い、実践に活かす。
(2) 自分や友達を大切に思う気持ちを育てる。	ア 子どもに合ったタイミングで生命の安全教育について伝え、自分も友達も大切だということを繰り返し知らせていく。